

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	春の街中にぎわい創出事業
事業主体 (連絡先)	野沢温泉観光協会 下高井郡野沢温泉村大字豊郷 9780-4
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,075,140円 (うち支援金:602,000円)

**事業内容**

温泉街の路地裏を会場に、「たけのこまつり」を開催し「街バル」的な賑わいを創出するための備品を揃え、出店者とお客様のコミュニケーションの場として、地域食材と、温泉街の特徴を出した取組みを図った。

また、7月1日オープンの「野沢温泉スポーツ公園」の告知と、同日からスタートする「信州DC」に向けた誘客対策の一環として、4月から6月の3ヶ月間において、「春の誘客キャンペーン」として、県内外において誘客宣伝を展開し、7月へと動きを繋げる取組みを行った。



【浴衣姿のお客様でにぎわう会場】

**【目標・ねらい】**

- ①実行委員会組織の確立
- ②信州 DC の前哨戦としての展開
- ③温泉街のにぎわい創出
- ④地域食材の活用

**事業効果**

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

街中のにぎわい創出として取り組んだ「たけのこまつり」については予想を大幅に上回る集客となり、運営組織としての実行委員会が主体となった取組みも人任せにしない体制作りが確立された。

また、地域住民とお客様とのコミュニケーションも充分に図ることが出来たと思われる。

4月から6月の3ヶ月間に取り組んだ「春から夏」への誘客については、7月が天候不順もあり、アウトドアを前面に押し出しての取組みは、思うような入込とはならなかった。

**※自己評価【A】**

**【理由】** 街中のにぎわい創出を図るための取組みとして成果を十分に発揮することが出来たと思われる。

**今後の取組み**

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

スキーシーズンが終了し、夏休み前の期間にいかにお客様にお越しいただくか、地域食材を活かした取組みが定着するか、来年に向けた方向付けができたと思われる。  
すでに、実行委員会による反省会、出店者による意見交換会も行い、来年に向け動き出した。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある